

## 【資料8】一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設） による災害廃棄物の要焼却処理量と焼却処理 可能量の比較結果（シナリオ別）及び仮設焼 却炉の設置必要基数の推計結果

---

注1：要焼却処理量と焼却処理可能量の比較を行った。年間の焼却処理可能量×3年が要焼却処理量以上の場合、処理可能として「○」、それ以外の場合は「×」として評価した。

注2：仮設焼却炉設置必要基数は1炉当たり100t/日の処理能力として設定し、年間稼働日数360日/年、処理期間2年として算出したもの。

注3：本検討には、現存稼働する一般廃棄物処理施設の被災による稼働率低下、民間施設の活用、広域連携による処理は含まれていないことに注意すること。本試算は、災害廃棄物の処理体制の構築を図るための、基礎資料として活用することが必要である。

【資料8】一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）による災害廃棄物の要焼却処理量と焼却処理可能量の比較結果（シナリオ別）及び仮設焼却炉の設置必要基数の推計結果

【低位シナリオ】焼却処理可能量との比較

	1 鹿児島 地域	2 南薩 地域	3 北薩 地域	4 始良・伊佐 地域	5 大隅 地域	6 熊毛 地域	7 大島 地域	全県
鹿児島湾直下	×	×	×	×	×	×	○	×
県西部直下	×	×	×	×	×	×	○	×
甌島列島東方沖	×	○	×	×	×	×	○	×
県北西部直下	×	○	×	×	○	○	○	×
熊本県南部	×	○	×	×	×	×	○	×
県北部直下	○	○	×	×	○	○	○	○
南海トラフ(基、津C5)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(東、津C5)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(西、津C5)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(陸、津C5)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(基、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(東、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(西、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(陸、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
種子島東方沖	×	×	×	×	×	×	○	×
トカラ列島太平洋沖	×	○	×	×	×	×	×	×
奄美群島太平洋沖(北)	×	○	×	×	×	×	×	×
奄美群島太平洋沖(南)	×	○	×	×	×	×	×	×
A桜島北方沖	×	○	×	×	×	×	○	×
B桜島東方沖	×	○	×	×	×	×	○	×

○：焼却処理可能量×3年≥要焼却処理量、 ×：焼却処理可能量×3年<要焼却処理量

【低位シナリオ】未焼却処理量(t) (要焼却処理量－焼却処理可能量×3年)

	1 鹿児島 地域	2 南薩 地域	3 北薩 地域	4 始良・伊佐 地域	5 大隅 地域	6 熊毛 地域	7 大島 地域	全県
鹿児島湾直下	291,065	17,481	1,505	28,143	39,835	74		375,266
県西部直下	263,633	4,800	94,878	7,174	202	74		367,924
甌島列島東方沖	5,002		40,048	170	202	129		42,222
県北西部直下	301		102,185	1,934				98,447
熊本県南部	77		36,462	3,060	202	55		34,057
県北部直下			41	4,588				
南海トラフ(基、津C5)	68,513	1,947	21,634	108,556	135,290	12,226	23,244	371,410
南海トラフ(東、津C5)	19,178	250	10,404	66,662	106,449	12,226	23,244	238,413
南海トラフ(西、津C5)	115,418	5,438	34,331	98,646	163,371	12,226	23,244	452,674
南海トラフ(陸、津C5)	79,167	6,475	50,999	111,925	155,143	12,226	23,244	439,179
南海トラフ(基、津C11)	68,932	3,851	21,969	108,556	156,885	17,045	24,556	401,794
南海トラフ(東、津C11)	19,602	2,137	10,879	66,662	126,307	17,045	24,556	267,188
南海トラフ(西、津C11)	115,418	7,263	34,879	98,646	187,667	17,045	24,556	485,474
南海トラフ(陸、津C11)	79,208	8,340	50,914	111,925	176,140	17,045	24,556	468,128
種子島東方沖	115,169	39,602	26,439	80,944	214,467	24,031		499,140
トカラ列島太平洋沖	415		3,242	170	5,626	7,556	2,136	17,979
奄美群島太平洋沖(北)	77		1,192	170	243	443	102,899	102,471
奄美群島太平洋沖(南)	77		659	170	243	240	28,890	27,568
A桜島北方沖	4,085		246	1,291	279	55		157
B桜島東方沖	1,238		246	2,638	3,877	55		2,255
未焼却処理量が最大となる災害	鹿児島湾直下	種子島東方沖	県北西部直下	南海トラフ(陸、津C5)	種子島東方沖	種子島東方沖	奄美群島太平洋沖(北)	種子島東方沖
最大未焼却処理量	291,065	39,602	102,185	111,925	214,467	24,031	102,899	499,140

仮設炉建設による必要基数の算定	処理能力： 100 t/日							
	処理期間： 720 日(処理開始から終了までの期間)							
必要基数(基)	年間稼働日数： 360 日/年							
	※既存施設が被災・損傷することによる処理能力低下は考慮していないため、必要基数の増加も考えられる。							
必要基数(基)	5	1	2	2	3	1	2	7

【資料8】一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）による災害廃棄物の要焼却処理量と焼却処理可能量の比較結果（シナリオ別）及び仮設焼却炉の設置必要基数の推計結果

【中位シナリオ】焼却処理可能量との比較

	1 鹿児島 地域	2 南薩 地域	3 北薩 地域	4 始良・伊佐 地域	5 大隅 地域	6 熊毛 地域	7 大島 地域	全県
鹿児島湾直下	×	×	○	×	×	×	○	×
県西部直下	×	×	×	○	×	×	○	×
甑島列島東方沖	○	○	×	○	×	×	○	○
県北西部直下	○	○	×	○	○	○	○	×
熊本県南部	○	○	×	○	×	×	○	○
県北部直下	○	○	○	○	○	○	○	○
南海トラフ(基、津C5)	×	○	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(東、津C5)	○	○	○	×	×	×	×	×
南海トラフ(西、津C5)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(陸、津C5)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(基、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(東、津C11)	○	○	○	×	×	×	×	×
南海トラフ(西、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(陸、津C11)	×	×	×	×	×	×	×	×
種子島東方沖	×	×	×	×	×	×	○	×
トカラ列島太平洋沖	○	○	○	○	×	×	○	○
奄美群島太平洋沖(北)	○	○	○	○	×	×	×	×
奄美群島太平洋沖(南)	○	○	○	○	×	×	×	○
A桜島北方沖	○	○	○	○	×	×	○	○
B桜島東方沖	○	○	○	○	×	×	○	○

○：焼却処理可能量×3年≥要焼却処理量、 ×：焼却処理可能量×3年<要焼却処理量

【中位シナリオ】未焼却処理量(t) (要焼却処理量－焼却処理可能量×3年)

	1 鹿児島 地域	2 南薩 地域	3 北薩 地域	4 始良・伊佐 地域	5 大隅 地域	6 熊毛 地域	7 大島 地域	全県
鹿児島湾直下	231,452	14,559		13,260	39,835	74		279,845
県西部直下	204,020	1,878	79,926		202	74		272,503
甑島列島東方沖			25,096		202	129		
県北西部直下			87,233					3,026
熊本県南部			21,510		202	55		
県北部直下								
南海トラフ(基、津C5)	8,900		6,682	93,673	135,290	12,226	20,193	275,989
南海トラフ(東、津C5)				51,779	106,449	12,226	20,193	142,992
南海トラフ(西、津C5)	55,805	2,516	19,379	83,763	163,371	12,226	20,193	357,253
南海トラフ(陸、津C5)	19,554	3,553	36,047	97,042	155,143	12,226	20,193	343,758
南海トラフ(基、津C11)	9,319	929	7,017	93,673	156,885	17,045	21,505	306,373
南海トラフ(東、津C11)				51,779	126,307	17,045	21,505	171,767
南海トラフ(西、津C11)	55,805	4,341	19,927	83,763	187,667	17,045	21,505	390,053
南海トラフ(陸、津C11)	19,595	5,418	35,962	97,042	176,140	17,045	21,505	372,707
種子島東方沖	55,556	36,680	11,487	66,061	214,467	24,031		403,719
トカラ列島太平洋沖					5,626	7,556		
奄美群島太平洋沖(北)					243	443	99,848	7,050
奄美群島太平洋沖(南)					243	240	25,839	
A桜島北方沖					279	55		
B桜島東方沖					3,877	55		
未焼却処理量が 最大となる災害	鹿児島湾直下	種子島東方沖	県北西部直下	南海トラフ(陸、津C5)	種子島東方沖	種子島東方沖	奄美群島太平洋沖(北)	種子島東方沖
最大未焼却処理量	231,452	36,680	87,233	97,042	214,467	24,031	99,848	403,719

仮設炉建設による必要基数の算定

処理能力： 100 t/日  
 処理期間： 720 日(処理開始から終了までの期間)  
 年間稼働日数： 360 日/年

※既存施設が被災・損傷することによる処理能力低下は考慮していないため、必要基数の増加も考えられる。

必要基数(基)	4	1	2	2	3	1	2	6
---------	---	---	---	---	---	---	---	---

【資料8】一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）による災害廃棄物の要焼却処理量と焼却処理可能量の比較結果（シナリオ別）及び仮設焼却炉の設置必要基数の推計結果

【高位シナリオ】焼却処理可能量との比較

	1 鹿児島 地域	2 南薩 地域	3 北薩 地域	4 始良・伊佐 地域	5 大隅 地域	6 熊毛 地域	7 大島 地域	全県
鹿児島湾直下	×	○	○	○	×	×	○	×
県西部直下	×	○	×	○	○	×	○	×
甑島列島東方沖	○	○	×	○	○	×	○	○
県北西部直下	○	○	×	○	○	○	○	○
熊本県南部	○	○	×	○	○	×	○	○
県北部直下	○	○	○	○	○	○	○	○
南海トラフ(基、津C5)	○	○	○	×	×	×	×	×
南海トラフ(東、津C5)	○	○	○	×	×	×	×	○
南海トラフ(西、津C5)	○	○	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(陸、津C5)	○	○	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(基、津C11)	○	○	○	×	×	×	×	×
南海トラフ(東、津C11)	○	○	○	×	×	×	×	×
南海トラフ(西、津C11)	○	○	×	×	×	×	×	×
南海トラフ(陸、津C11)	○	○	×	×	×	×	×	×
種子島東方沖	○	×	○	×	×	×	○	×
トカラ列島太平洋沖	○	○	○	○	○	×	○	○
奄美群島太平洋沖(北)	○	○	○	○	○	×	×	○
奄美群島太平洋沖(南)	○	○	○	○	○	×	×	○
A桜島北方沖	○	○	○	○	○	×	○	○
B桜島東方沖	○	○	○	○	○	×	○	○

○：焼却処理可能量×3年≥要焼却処理量、 ×：焼却処理可能量×3年<要焼却処理量

【高位シナリオ】未焼却処理量(t) (要焼却処理量－焼却処理可能量×3年)

	1 鹿児島 地域	2 南薩 地域	3 北薩 地域	4 始良・伊佐 地域	5 大隅 地域	6 熊毛 地域	7 大島 地域	全県
鹿児島湾直下	163,358				17,008	74		117,266
県西部直下	135,926		61,473			74		109,924
甑島列島東方沖			6,643			129		
県北西部直下			68,780					
熊本県南部			3,057			55		
県北部直下								
南海トラフ(基、津C5)				65,272	112,463	12,226	12,081	113,410
南海トラフ(東、津C5)				23,378	83,622	12,226	12,081	
南海トラフ(西、津C5)			926	55,362	140,544	12,226	12,081	194,674
南海トラフ(陸、津C5)			17,594	68,641	132,316	12,226	12,081	181,179
南海トラフ(基、津C11)				65,272	134,058	17,045	13,393	143,794
南海トラフ(東、津C11)				23,378	103,480	17,045	13,393	9,188
南海トラフ(西、津C11)			1,474	55,362	164,840	17,045	13,393	227,474
南海トラフ(陸、津C11)			17,509	68,641	153,313	17,045	13,393	210,128
種子島東方沖		19,988		37,660	191,640	24,031		241,140
トカラ列島太平洋沖						7,556		
奄美群島太平洋沖(北)						443	91,736	
奄美群島太平洋沖(南)						240	17,727	
A桜島北方沖						55		
B桜島東方沖						55		
未焼却処理量が最大となる災害	鹿児島湾直下	種子島東方沖	県北西部直下	南海トラフ(陸、津C5)	種子島東方沖	種子島東方沖	奄美群島太平洋沖(北)	種子島東方沖
最大未焼却処理量	163,358	19,988	68,780	68,641	191,640	24,031	91,736	241,140

仮設炉建設による必要基数の算定	処理能力：	100	t/日					
	処理期間：	720	日(処理開始から終了までの期間)					
	年間稼働日数：	360	日/年					
	※既存施設が被災・損傷することによる処理能力低下は考慮していないため、必要基数の増加も考えられる。							
必要基数(基)	3	1	1	1	3	1	2	4